

北海道環境保全技術協会主催  
H19年度第3回環境保全技術セミナー

日時：平成20年2月8日（金）午後2時～5時15分

場所：かでの2.7（札幌市中央区北2条西7丁目）

セミナー会場：710会議室（96名）

参加費：無料

<プログラム>

1. 荒廃地植生回復・急傾斜岩盤緑化を可能とした「タフグリーン工法」

（14:05-14:45）

[概要]： 現地の土壌理化学性及び周辺植生の把握 森林土壌に近い基盤材＋浸食防止マット＋周辺自生植生の導入 自然復元型緑化

[発表者]：国土防災技術北海道(株)・道環協会員

上松靖史（タフグリーン工法研究会・国土防災技術北海道(株)業務担当課長）

2. 重金属吸着剤「アドセラ」の紹介及び砒素汚染土壌への適用例について

（14:45-15:00）

[概要]：日本板硝子(株)が製造・販売している「アドセラ」の紹介及び砒素汚染土壌への不溶化処理例について解説します。

[発表者]：日本板硝子(株)

機能性ガラス材料事業部門 S Gサポート部門 S G研究開発部 主任技師 津田正信

3. 堤体法面や水辺への被覆保護を目的とした多自然護岸工法の提案

（15:00-15:40）

[概要]：高い耐流速性と侵食防止機能を備えた新ジオテキ護岸「グリッドシーバーシリーズ」と、特殊アミノ酸効果により耐塩性・耐乾性、また水際の緑化も可能となる芝生「キョーリョッカー」の提案。

[発表者]：北海日植(株)・道環協会員

正木功士（日本植生(株)環境緑化部河川課長）

4. 現存する表土に含まれる埋土種子を活用したマザーソイル工法

（15:50-17:20）

[概要]：生物多様性保全のため、そこに存在する埋土種子を利用し、周辺植生と調和する植生をのり面緑化工によって実現するのが自然生態系保全を図るマザーソイル工法です。

[発表者]：北海日植(株)・道環協会員

小畑秀弘（マザーソイル協会技術委員長）

参加総数 140名（会員：19名、会員外：35名、官庁関係：78名、その他：8名）



開会挨拶 道環協・平田理事長



タフグリーン工法研究会  
上松 靖史 様（国土防災技術北海道㈱）



日本板硝子㈱ 津田 正信 様



北海日植㈱ 正木 功士 様（日本植生㈱）



北海日植㈱  
小畑秀弘 様（マザーソイル協会）



聴講風景